



おかもと たろう
岡本太郎作品
信楽焼産地の高い技術力に注目した芸術家・岡本太郎は、信楽で大阪万博のシンボル「太陽の塔」の背面の「黒い太陽」をはじめとする多くのやきもの作品を制作しました。
信楽の人々に親しまれた岡本太郎は、昭和46年（1971年）に旧信楽町の名誉町民となりました。



このコーナーでは、
日本遺産に認定された「信楽焼」の
ストーリーを構成する文化財を紹介します。



日本遺産を巡る くきつと恋する六古窯編



旬のみどころ

信楽伝統産業会館 常設展示
信楽焼ミュージアム

太陽の塔「黒い太陽」のレプリカや今も人気を博している「坐ることを拒否する椅子」を常設展示しています。

●開館時間
9時～17時

●休館日
木曜日

●場所
信楽町長野1203番地
(信楽地域市民センター南隣)

甲賀市信楽伝統産業会館
信楽焼
ミュージアム
SHIGARAKI-YAKI
MUSEUM

図 信楽伝統産業会館 ☎82-2345 ☎82-2551

働くならやっぱり甲賀

イクボスとは？●職場で共に働く部下の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を充実させている上司のことです。

子育て世代だけでなく、幅広い世代の社員の仕事と生活の質を向上させたいと思いイクボス宣言をしました。

弊社はコバルトを使ったガンマ線照射による滅菌業務を受託しています。受託対象品の6割は医療機器関係です。

「放射線事業を通じて顧客の繁栄と社会に貢献する」を企業理念に掲げており、理念実現のためには、社員のモチベーションの向上と自分の仕事に誇りをもって働いてもらうことが重要だと考えています。

取り組みとしては、月一回、外部講師を招き、セミナーや勉強会を開催し、社員のモチベーションアップやスキルアップを図っています。



▲株式会社コーガイソトープの皆さん

今月のイクボス

株式会社コーガイソトープ

代表取締役社長 **久保 亮さん**



また、一般的にネガティブな印象のある放射線を扱う仕事のイメージを払拭し、人工透析に欠かせないダイアライザー（人工腎臓）の滅菌など、社会的に重要な業務に従事していることを認識し、誇りをもって働いてもらうために社内情報誌を発行し情報共有を行っています。2017年に始まった中期計画では「休みを増やしながら、生産性を上げる」ことを目標に掲げており、CS活動（標準化活動）や業務の自動化・機械化の導入、年間休日を120日から132日に増やすなど、働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、生産性の向上と地域参画が可能となり、社会貢献につながっていくと考えています。

今後は、全部門が土曜日に一斉休暇が取得できる体制づくりと性別や年齢にかかわらず働いてもらえる職場づくりに取り組んでいきたいと考えています。

社員から一言:自分の提案が採用されて、お客様に喜んでいただけるなど、やりがいを感じながら働ける職場です。また、休日が増えたことで、学校行事にも参加しやすくなり、子どもと一緒に過ごせる時間が多くなりました。

図 商工労政課 女性活躍推進室 ☎69-2189 ☎63-4087

編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 FAX 0748-63-4086
業務時間 8時30分～17時15分（窓口延長日を除く）

甲賀市の情報は、ホームページ・facebookでもご覧いただけます

●甲賀市ホームページ
<http://www.city.koka.lg.jp/>

●甲賀市facebook
<http://www.facebook.com/city.koka>



甲賀市の人口の推移

R2.9.30現在

- 総数 90,265 (-35)人
 - 男 45,190 (-22)人
 - 女 45,075 (-13)人
 - 世帯数 36,337 (-3)世帯
- ※()内は前月比